

令和9年度 編入学者募集要項

独立行政法人 国立高等専門学校機構
呉工業高等専門学校
〒737-8506
広島県呉市阿賀南2丁目2番11号
☎(0823)73-8416[学生課直通]

1 募集学科・人員及び編入学年

学 科	人 員	学 年
機械工学科	募 集 な し	第 4 学 年
電気情報工学科	募 集 な し	
環境都市工学科	若 干 名	
建築学科	若 干 名	

2 出願資格

- (1) 工業高等学校又は高等学校，中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科（主に工業に関する科目を履修していなければなりません。）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) (1) 以外的高等学校で普通科又は理数科を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (3) その他本校において，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
(注) 上記(3)により出願する者は，事前に学生課教務係に問い合わせること。

3 志望学科

◇出願資格(1)の場合

出身学校における所属学科（総合学科の場合は主に履修した工業の科目群）と同系統とします。

◇出願資格(2)(3)の場合

いずれの学科でも志望することができます。

ただし，建築学科を志望する場合，以下の点にご留意ください。

本校建築学科を卒業後，建築士の受験資格を得るためには，指定科目を必要単位数取得する必要があります。本校建築学科への編入後の二年間で，二級建築士の受験時の必要単位数は取得できますが，一級建築士の受験時の必要単位数は取得できないため，編入前の高校等で取得した単位を本校三学年までの単位に置き換える必要があります。工業高校の建築学科からの編入で置き換えができる場合は一級建築士の受験資格が得られますが，普通科等からの編入で置き換えができない場合は二級建築士資格取得後に一級建築士を受験することにな

ります。この点をご承知おきください。

一級建築士受験資格につきましてご不明な場合は、6月末までに 0823-73-8416（呉高専学生課教務係）までお問い合わせください。

4 WEB 出願エントリー及び出願書類郵送提出

出願手続きは、出願サイトにて行う「WEB 出願エントリー」と写真票等の必要書類を本校へ提出する「出願書類郵送提出」で完了となります。詳細は下記(1)～(3)をご参照ください。

(1)WEB 出願エントリー及び出願書類郵送提出期間

WEB 出願エントリー 及び出願書類郵送提出	期 間：令和8年7月13日（月）～7月22日（水） ※出願書類は7月22日（水）までに必着とします。 ※持参の場合、窓口受付時間は平日9時00分から16時00分まで 場 所：〒737-8506 広島県呉市阿賀南2丁目2番11号 呉工業高等専門学校 学生課教務係
---------------------------	--

(2)WEB 出願エントリー及び出願書類郵送提出

①WEB 出願エントリー

本校ホームページから出願サイトへアクセスし、「WEB 出願の流れ」や本校ホームページ掲載の「WEB 出願の手引き」を参照に、入学検定料 16,500 円及び手数料等を納入の上、エントリーしてください。

②出願書類郵送提出

WEB 出願エントリー完了後、出身学校長を通じて、本校学生課教務係に提出してください。出願書類は、必ずWEB 出願サイトマイページから出力される宛名票を貼り付けた封筒（角2号）へ入れ提出してください。なお、郵送する場合は簡易書留とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書してください。

写 真 票	WEB 出願サイトマイページから印刷し、提出してください。 写真は、上半身・正面向・無帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願前3ヶ月以内に撮影したものとします。
調 査 書	高等学校所定の用紙により、出身学校長が作成したものとします。 なお、卒業見込みの場合、第3学年は1学期までの成績を記入してください。

※既に就職している者は、その所属長の受験許可書（様式任意）を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- 必要書類を提出し出願が完了すると、提出書類受領メールが届きます。
令和8年7月23日(木)を過ぎても提出書類受領メールが届かない場合は、本校学生課教務係にお問い合わせください。
- WEB 出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 受領した出願書類並びに入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は入学検定料の返還請求をすることができますので、本校学生課教務係へお問い合わせください。

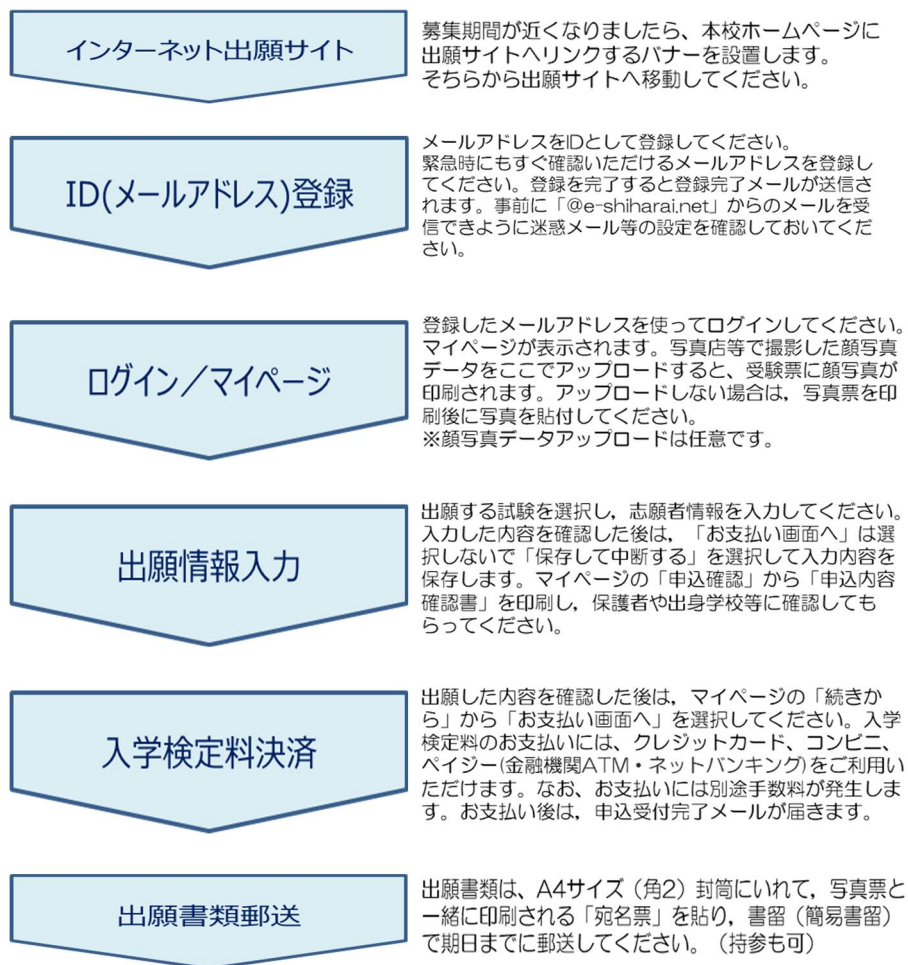
1. WEB 出願エントリーにて入学検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
2. 入学検定料を重複で納付した場合

<インターネット出願手続きの流れ>

WEB出願にあたり、以下の内容をご確認頂くとともに、本校ホームページの「WEB出願の手引き」をご参照ください。

- ・募集要項の内容に関するお問い合わせ先：呉工業高等専門学校学生課教務係[TEL:(0823)73-8416]
- ・WEB出願システムに関するお問い合わせ先：サポートセンター

※出願サイト右下にある「お問合せ先」から電話番号を確認してください。



出願手続きは以上になります。

試験当日は、受験票は必ず持参してください。

※受験票は本校から発送しませんので、必ずご自宅等で印刷し、受験生の顔写真を貼付のうえ受験票を試験当日お持ちください。顔写真データをアップロードされた方は、写真の貼付け不要です。

5 身体等に障害のある者の相談

入学者選抜において、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、出願の1か月前までに学生課教務係へ相談してください。

6 選抜方法

(1) 選抜は、調査書（150点）、試験（150点）及び面接の総合判定によって行います。

(2) 試験について

機械工学科……………募集なし

電気情報工学科……………募集なし

環境都市工学科……………筆記（90分）

構造力学・土質力学・水理学における基礎的事項

建築学科……………①出願資格（1）の場合

筆記（60分）及び図面*

建築構造力学・建築計画（建築史を含む）における基礎的事項

*建築設計製図の図面を検査日に持参してください。

②出願資格（2）（3）の場合

筆記（60分）及び建築に関する図面模写試験（60分）

建築構造力学・建築計画（建築史を含む）における基礎的事項

7 選抜日時

令和8年7月28日（火） 13時～

8 選抜場所

呉工業高等専門学校（広島県呉市阿賀南2丁目2番11号）

9 追試験

(1) 編入学試験に出願した者のうち、次のいずれかに該当する者については、追試験を受験することができます。

①編入学試験に出願した者のうち、学校保健安全法施行規則第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、令和8年7月28日（火）に実施する編入学試験を受験できない者

②その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で、令和8年7月28日（火）に実施する編入学試験を受験できない者で、本校がその理由を認めた者

※①に示す編入学試験を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

- (2) 受験を希望する者は、学力選抜当日までに学生課教務係に連絡したうえで、後日、本校が指定した証明書を提出すること
- (3) 編入学試験の選抜方法のとおり（4ページ参照）
- (4) 選抜日時 令和8年8月4日（火）13時～
- (5) 検査場所 呉工業高等専門学校（広島県呉市阿賀南2丁目2番11号）

10 合格者発表

- (1) 令和8年8月7日（金）午前10時に合格者の受験番号を本校図書館棟に掲示するとともに、ホームページ（アドレス：<https://www.kure-nct.ac.jp/>）に掲載します。
合格者には「合格通知書」を出身学校長あてに送付します。また、合否結果を出身学校長に通知します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。
- (2) 合格通知を受けた者は、令和8年8月21日（金）（必着）までに「入学確約書」を本校学生課教務係へ提出してください。郵送の場合も提出期限内必着とします。提出がない場合は、入学意志がないものとして、取り扱います。
- (3) 入学手続きについては、3月上旬頃に別途通知します。

11 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度改善のための調査・研究

検査場案内

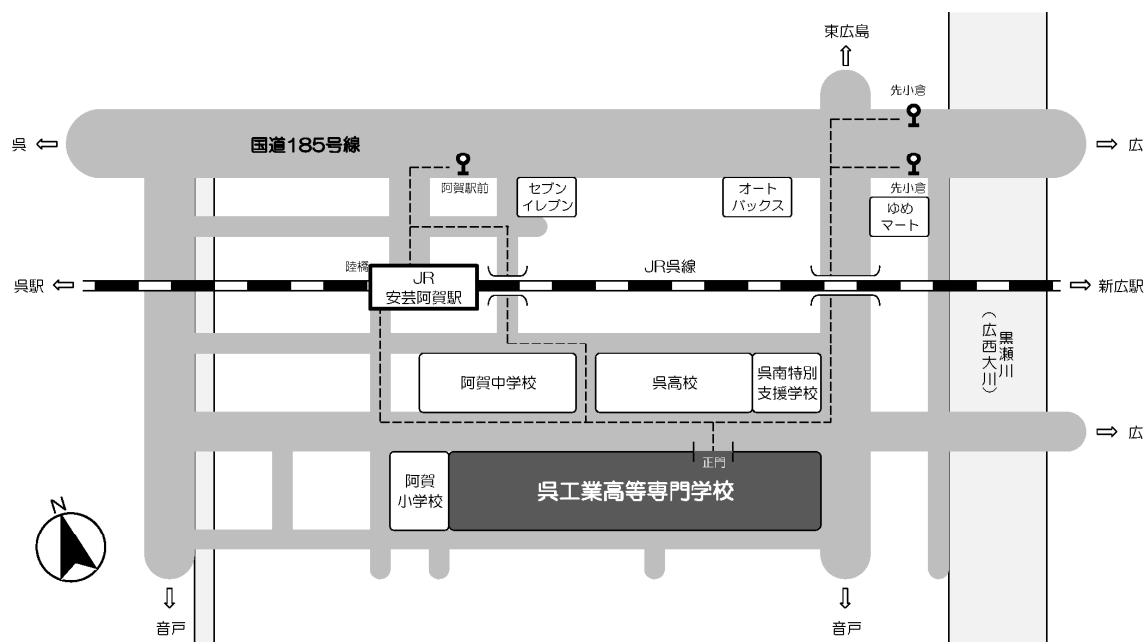
独立行政法人 国立高等専門学校機構 広島県呉市阿賀南2丁目2番11号
(〒737-8506)

呉工業高等専門学校 ☎ (0823) 73-8416

学校への交通案内

JR西日本 呉線 ^{あきあが}安芸阿賀駅下車 徒歩約10分

広島電鉄バス ^{さきおくら}先小倉停留所下車 徒歩約10分



《教育課程表》

一般科目（各学科共通）

一般科目 平成31年度以降入学生

授業科目	単位数	学年別配当					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
現代文Ⅰ	1	1					
現代文Ⅱ	1	1					
現代文Ⅲ	1		1				
日本語表現力基礎	1			1			留学生以外に対して開設
日本文学	2				2		学修単位、留学生以外に対して開設
古典文学Ⅰ	1	1					
古典文学Ⅱ	1		1				
歴史総合Ⅰ	1	1					
歴史総合Ⅱ	1	1					
公共Ⅰ	1		1				
公共Ⅱ	1		1				
地理総合	1			1			留学生以外に対して開設
技術者倫理	2					2	学修単位
英語Ⅰ	1	1					
英語Ⅱ	1	1					
英語Ⅲ	1		1				
英語Ⅳ	1		1				
英語Ⅴ	2			2			
英語Ⅵ	2			2			
英語Ⅶ	2				2		学修単位
英語Ⅷ	2				2		学修単位
英語Ⅸ	2					2	学修単位
英語表現Ⅰ	1	1					
英語表現Ⅱ	1	1					
英語表現Ⅲ	1		1				
英語表現Ⅳ	1		1				
芸術	1		1				
保健	1	1					
体育Ⅰ	2	2					
体育Ⅱ	2		2				
体育Ⅲ	2			2			
体育Ⅳ	1				1		
体育Ⅴ	1					1	
日本語・日本事情Ⅰ	4			4			留学生に対して開設
日本語・日本事情Ⅱ	2				2		留学生に対して開設
日本語・日本事情Ⅲ	1					1	留学生に対して開設
基礎数学AⅠ	2	2					
基礎数学AⅡ	1	1					
数学AⅠ	1		1				
数学AⅡ	2		2				
数学AⅢ	2			2			
数学AⅣ	2			2			
基礎数学BⅠ	1	1					
基礎数学BⅡ	1	1					
数学BⅠ	1		1				
数学BⅡ	1		1				
基礎数学C	1	1					
物理Ⅰ	1	1					
物理Ⅱ	1	1					
物理Ⅲ	1		1				
物理Ⅳ	1		1				
物理Ⅴ	1			1			
物理Ⅵ	1			1			
化学Ⅰ	1	1					
化学Ⅱ	1	1					
化学Ⅲ	1		1				
化学Ⅳ	1		1				
ライフサイエンス・アースサイエンス	1	1					
情報リテラシー	1	1					
俯瞰学	1		1				
プロジェクトデザイン入門	2	2					
インキュベーションワークⅠ	1	1					
インキュベーションワークⅡ	2		2				
インキュベーションワークⅢ	2			2			
開設単位数計	85	27	23	20	9	6	
履修単位数計	78(81)	27	23	16(18)	7	5(6)	()内:留学生
(A) 第二外国語Ⅰ	2					2	学修単位
(A) 第二外国語Ⅱ	2					2	学修単位
(A) 物理科学	2				2		学修単位
(A) インキュベーションワークⅣ	2				2		
(A) 開設単位数計	8				4	4	
(B) AⅠ基礎技術演習	1			1			AⅠ基礎技術演習の修得単位は、特別一般講義(A~D)の修得単位に含めて算定し、在学期間を通算して4単位を上限とする。
(B) 特別一般講義A	1			1			特別一般講義Aから特別一般講義Dとは、中国・四国国立大学間共同授業で開講する授業科目、教育ネットワーク中国会員校が指定する授業科目(以下「他大学等が実施する授業科目」という。)及び校長が別に指定する授業科目を示す。
(B) 特別一般講義B	1			1			
(B) 特別一般講義C	1			1			
(B) 特別一般講義D	1			1			

専門科目（学科別）

機械工学科 平成31年度以降入学生

	授 業 科 目	単位数	学年別配当					備 考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	工学総合演習Ⅰ	2				2			
	工学総合演習Ⅱ	2					2		
	卒業研究	10					10		
	開設単位数計	14				2	12		
	履修単位数計	14				2	12		
選	応用数学	1			1				
	確率統計	2				2		学修単位	
	情報処理Ⅰ	1		1					
	情報処理Ⅱ	1		1					
	情報処理Ⅲ	2				2		学修単位	
	材料力学Ⅰ	1			1				
	材料力学Ⅱ	1			1				
	材料力学Ⅲ	1				1			
	材料力学Ⅳ	1				1			
	機械力学Ⅰ	2					2	学修単位	
	機械力学Ⅱ	2					2	学修単位	
	択	加工学Ⅰ	1			1			
加工学Ⅱ		1			1				
加工学Ⅲ		1					1		
材料学Ⅰ		1		1					
材料学Ⅱ		1			1				
材料学Ⅲ		2				2		学修単位	
熱工学Ⅰ		1				1			
熱工学Ⅱ		1				1			
熱工学Ⅲ		1					1		
熱機関		2					2	学修単位	
必		流体工学Ⅰ	1				1		
		流体工学Ⅱ	1				1		
	流体工学Ⅲ	1					1		
	流体工学Ⅳ	1					1		
	機械設計概論	1	1						
	機構学	1		1					
	機械要素設計Ⅰ	1			1				
	機械要素設計Ⅱ	2				2		学修単位	
	CAM/CAE	1			1				
	機械設計特論	2				2		学修単位	
	先端工学	2					2	学修単位	
	経営工学	2					2	学修単位	
科	論理回路	1			1				
	制御工学	2				2		学修単位	
	計測工学	2				2		学修単位	
	ロボティクス基礎	1		1					
	電気工学	1			1				
	メカトロニクス	2				2		学修単位	
	機械設計製図Ⅰ	2	2						
	機械設計製図Ⅱ	2		2					
	機械設計製図Ⅲ	4			4				
	機械総合演習	2				2			
	工作実習Ⅰ	2	2						
	工作実習Ⅱ	2		2					
目	工作実習Ⅲ	2			2				
	工作実習Ⅳ	1				1			
	工学実験	2				2			
	機械工学演習	1			1			留学生に対して開設	
	開設単位数計	72	5	9	17	27	14		
	履修単位数計	71(72)	5	9	16(17)	27	14	()内:留学生	
	選	材料力学特論	1					1	
		材料学特論	2					2	学修単位
		トライボロジー	2					2	学修単位
		システム工学	2					2	学修単位
		地域実践演習	4				4		
		開設単位数計	11				4	7	
科	校外実習	1				1			
	特別専門講義A	1			1			特別専門講義Aから特別専門講義Dとは、他大学等が実施する授業科目及び校長が別に指定する授業科目を示す。	
	特別専門講義B	1			1				
	特別専門講義C	1			1				
	特別専門講義D	1			1				

電気情報工学科 エネルギー制御コース 令和5年度以降入学生

授業科目	単位数	学年別配当					備考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	工学総合演習Ⅰ	2				2		
	工学総合演習Ⅱ	2					2	
	卒業研究	10					10	
	開設単位数計	14				2	12	
	履修単位数計	14				2	12	
選択科目	応用数学	2				2	学修単位	
	電気情報概論	1	1					
	電気数学Ⅰ	1		1				
	電気数学Ⅱ	1			1			
	電気数学Ⅲ	1			1			
	電気数学Ⅳ	2				2	学修単位	
	電気基礎Ⅰ	1	1					
	電気基礎Ⅱ	1	1					
	電気回路Ⅰ	1		1				
	電気回路Ⅱ	1		1				
	電気回路Ⅲ	1			1			
	電気回路Ⅳ	1			1			
	電気回路Ⅴ	1				1		
	電気回路Ⅵ	1				1		
	電子回路Ⅰ	2				2	学修単位	
	電子回路Ⅱ	2				2	学修単位	
	電気電子材料	1			1			
	電子工学Ⅰ	1			1			
	電子工学Ⅱ	1				1		
	電気磁気学Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅱ	1			1			
	電気磁気学Ⅲ	1				1		
	電気磁気学Ⅳ	1				1		
	制御工学Ⅰ	2				2	学修単位	
	制御工学Ⅱ	2				2	学修単位	
	電気・電子計測Ⅰ	1		1				
	電気・電子計測Ⅱ	1			1			
	情報処理Ⅰ	1	1					
	情報処理Ⅱ	1		1				
	情報処理Ⅲ	1		1				
情報処理Ⅳ	1			1				
情報処理Ⅴ	1			1				
シーケンス制御	1			1				
ものづくり実習	1	1						
電気情報工学実験Ⅰ	3		3					
電気情報工学実験Ⅱ	4			4				
エネルギー制御工学実験	4				4			
エネルギー変換工学Ⅰ	2				2	学修単位		
エネルギー変換工学Ⅱ	2				2	学修単位		
エネルギー変換工学Ⅲ	2				2	学修単位		
エネルギーネットワーク工学Ⅰ	1				1			
エネルギーネットワーク工学Ⅱ	2				2	学修単位		
エネルギー発生工学Ⅰ	1				1			
エネルギー発生工学Ⅱ	1				1			
電気工学演習	1			1		留学生に対して開設		
	開設単位数計	63	5	9	17	23	9	
	履修単位数計	62(63)	5	9	16(17)	23	9 ()内:留学生	
選択科目	通信工学Ⅰ	2				2	学修単位	
	通信工学Ⅱ	2				2	学修単位	
	電磁界理論	2				2	学修単位	
	アルゴリズム	2				2	学修単位	
	信号処理	1				1		
	情報ネットワーク	1				1		
	情報理論	1				1		
	IC設計工学	1				1		
	応用電子回路	2				2	学修単位	
	パワーエレクトロニクス	2				2	学修単位	
	地域実践演習	4				4		
		開設単位数計	20				8	12
	目	校外実習	1				1	
特別専門講義A		1		1			特別専門講義Aから特別専門講義Dとは、他大学等が実施する授業科目及び校長が別に指定する授業科目を示す。	
特別専門講義B		1		1				
特別専門講義C		1		1				
特別専門講義D		1		1				

電気情報工学科 情報通信コース 令和5年度以降入学生

授 業 科 目	単位数	学年別配当					備 考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	工学総合演習Ⅰ	2				2		
	工学総合演習Ⅱ	2					2	
	卒業研究	10					10	
	開設単位数計	14				2	12	
	履修単位数計	14				2	12	
選択科目	応用数学	2				2	学修単位	
	電気情報概論	1	1					
	電気数学Ⅰ	1		1				
	電気数学Ⅱ	1			1			
	電気数学Ⅲ	1			1			
	電気数学Ⅳ	2				2	学修単位	
	電気基礎Ⅰ	1	1					
	電気基礎Ⅱ	1	1					
	電気回路Ⅰ	1		1				
	電気回路Ⅱ	1		1				
	電気回路Ⅲ	1			1			
	電気回路Ⅳ	1			1			
	電気回路Ⅴ	1				1		
	電気回路Ⅵ	1				1		
	電子回路Ⅰ	2				2	学修単位	
	電子回路Ⅱ	2				2	学修単位	
	電気電子材料	1			1			
	電子工学Ⅰ	1			1			
	電子工学Ⅱ	1				1		
	必修科目	電気磁気学Ⅰ	1			1		
電気磁気学Ⅱ		1			1			
電気磁気学Ⅲ		1				1		
電気磁気学Ⅳ		1				1		
制御工学Ⅰ		2				2	学修単位	
制御工学Ⅱ		2				2	学修単位	
電気・電子計測Ⅰ		1		1				
電気・電子計測Ⅱ		1			1			
情報処理Ⅰ		1	1					
情報処理Ⅱ		1		1				
必修科目	情報処理Ⅲ	1		1				
	情報処理Ⅳ	1			1			
	情報処理Ⅴ	1			1			
	シーケンス制御	1			1			
	ものづくり実習	1	1					
	電気情報工学実験Ⅰ	3		3				
	電気情報工学実験Ⅱ	4			4			
	情報通信工学実験	4				4		
	通信工学Ⅰ	2				2	学修単位	
	通信工学Ⅱ	2				2	学修単位	
必修科目	電磁界理論	2				2	学修単位	
	アルゴリズム	2				2	学修単位	
	信号処理	1				1		
	情報ネットワーク	1				1		
	情報理論	1				1		
	電気工学演習	1			1		留学生に対して開設	
	開設単位数計	63	5	9	17	24	8	
	履修単位数計	62(63)	5	9	16(17)	24	8	()内:留学生
	選択科目	エネルギー変換工学Ⅰ	2				2	学修単位
		エネルギー変換工学Ⅱ	2				2	学修単位
エネルギー変換工学Ⅲ		2				2	学修単位	
エネルギーネットワーク工学Ⅰ		1				1		
エネルギーネットワーク工学Ⅱ		2				2	学修単位	
エネルギー発生工学Ⅰ		1				1		
エネルギー発生工学Ⅱ		1				1		
IC設計工学		1				1		
応用電子回路		2				2	学修単位	
パワーエレクトロニクス		2				2	学修単位	
地域実践演習	4				4			
開設単位数計	20				7	13		
必修科目	校外実習	1				1		
	特別専門講義A	1			1		特別専門講義Aから特別専門講義Dとは、他大学等が実施する授業科目及び校長が別に指定する授業科目を示す。	
	特別専門講義B	1			1			
	特別専門講義C	1			1			
	特別専門講義D	1			1			

環境都市工学科 平成31年度以降入学生

授 業 科 目	単位数	学年別配当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	測量Ⅰ	1	1				
	測量Ⅱ	1	1				
	実験実習Ⅰ	2	2				
	実験実習Ⅱ	4		4			
	実験実習Ⅲ	4			4		
	実験実習Ⅳ	4				4	
	設計製図Ⅰ	1				1	
	設計製図Ⅱ	1					1
	工学総合演習Ⅰ	2				2	
	工学総合演習Ⅱ	2					2
	卒業研究	10					10
開設単位数計	32	4	4	4	7	13	
履修単位数計	32	4	4	4	7	13	
選択科目	応用数学	2				2	学修単位
	情報処理Ⅰ	1		1			
	土木CAD	1			1		
	建設施工Ⅰ	1			1		
	建設施工Ⅱ	1				1	
	交通計画	1			1		
	都市計画	1			1		
	交通システム工学	1				1	
	社会基盤計画学	2					2 学修単位
	建設材料	1	1				
	コンクリート工学Ⅰ	1		1			
	コンクリート工学Ⅱ	1		1			
	コンクリート構造Ⅰ	1				1	
	コンクリート構造Ⅱ	1				1	
	鋼構造Ⅰ	1				1	
	鋼構造Ⅱ	1					1
	構造力学Ⅰ	1			1		
	構造力学Ⅱ	1			1		
	構造力学Ⅲ	2				2	学修単位
	構造力学Ⅳ	2				2	学修単位
	水理学Ⅰ	1			1		
	水理学Ⅱ	1			1		
	水理学Ⅲ	2				2	学修単位
	水理学Ⅳ	2				2	学修単位
	河川工学Ⅰ	1				1	
	土質力学Ⅰ	1			1		
	土質力学Ⅱ	1			1		
	土質力学Ⅲ	2				2	学修単位
	土質力学Ⅳ	2				2	学修単位
	防災工学Ⅰ	2					2 学修単位
自然生態学	1		1				
環境工学	1		1				
水環境工学Ⅰ	1			1			
水環境工学Ⅱ	1			1			
環境保全	2				2	学修単位	
遺伝子工学概論	2					2 学修単位	
環境工学演習	1			1		留学生に対して開設	
開設単位数計	48	1	5	13	22	7	
履修単位数計	47(48)	1	5	12(13)	22	7 ()内:留学生	
選択科目	情報処理Ⅱ	1				1	
	測量Ⅲ	2				2	学修単位
	河川工学Ⅱ	2				2	学修単位
	防災工学Ⅱ	2				2	学修単位
	環境生物学	2				2	学修単位
	環境分析化学	2				2	学修単位
	環境都市工学演習Ⅰ	1				1	
	環境都市工学演習Ⅱ	1				1	
	地域実践演習	4				4	
	開設単位数計	17				4	13
選択科目	校外実習	1				1	
	特別専門講義A	1			1		特別専門講義Aから特別専門講義Dとは、他大学等が実施する授業科目及び校長が別に指定する授業科目を示す。
	特別専門講義B	1			1		
	特別専門講義C	1			1		
	特別専門講義D	1			1		

建築学科 令和5年度以降入学生

授業科目	単位数	学年別配当					備考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	工学総合演習Ⅰ	2			2			
	工学総合演習Ⅱ	2				2		
	卒業研究	10				10		
	開設単位数計	14			2	12		
	履修単位数計	14			2	12		
選択科目	応用数学	1			1			
	情報処理Ⅰ	1			1			
	CAD基礎	1		1				
	CAD・CGⅠ	1			1			
	CAD・CGⅡ	1			1			
	建築設計製図Ⅰ	1	1					
	建築設計製図Ⅱ	4		4				
	建築設計製図Ⅲ	4			4			
	建築設計製図Ⅳ	2				2		
	ものづくり実習	1	1					
	造形Ⅰ	1	1					
	造形Ⅱ	1		1				
	デザイン基礎	1			1			
	建築史Ⅰ	1			1			
	建築史Ⅱ	1			1			
	建築史Ⅲ	2				2	学修単位	
	建築意匠	2				2	学修単位	
	建築学入門	1	1					
	建築計画Ⅰ	1		1				
	建築計画Ⅱ	1			1			
	建築計画Ⅲ	2				2	学修単位	
	福祉住環境	1			1			
	都市計画	2				2	学修単位	
	建築環境工学Ⅰ	2				2	学修単位	
	建築環境工学Ⅱ	2				2	学修単位	
	建築設備Ⅰ	2				2	学修単位	
	建築設備Ⅱ	2				2	学修単位	
必修科目	建築構法Ⅰ	1	1					
	建築構法Ⅱ	1		1				
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	1			1			
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	1				1		
	鉄筋コンクリート構造Ⅲ	1				1		
	鋼構造Ⅰ	1				1		
	鋼構造Ⅱ	1				1		
	建築構造力学Ⅰ	1		1				
	建築構造力学Ⅱ	1		1				
	建築構造力学Ⅲ	1			1			
	建築構造力学Ⅳ	1			1			
	建築構造力学Ⅴ	2				2	学修単位	
	建築構造力学演習	1			1			
	建築工学実験	1				1		
	建築防災工学	2				2	学修単位	
	建築法規Ⅰ	2				2	学修単位	
	建築法規Ⅱ	2				2	学修単位	
	目	建築材料Ⅰ	1			1		
		建築材料Ⅱ	1			1		
		建築材料Ⅲ	2				2	学修単位
		建築生産Ⅰ	2				2	学修単位
建築生産Ⅱ		2				2	学修単位	
技術者資格演習		1				1		
ゼミナール		1				1		
建築学演習		1			1		留学生に対して開設	
開設単位数計		74	5	9	17	27	16	
履修単位数計		73(74)	5	9	16(17)	27	16	
							()内:留学生	
選択科目	情報処理Ⅱ	1				1		
	建築設計製図Ⅴ	2				2		
	インテリア計画	2				2	学修単位	
	地域実践演習	4				4		
	開設単位数計	9				4	5	
	校外実習	1				1		
	特別専門講義A	1			1		特別専門講義Aから特別専門講義Dとは、他大学等が実施する授業科目及び校長が別に指定する授業科目を示す。	
特別専門講義B	1			1				
特別専門講義C	1			1				
特別専門講義D	1			1				

教育理念、教育目的、学習・教育目標、3つのポリシー（本科）

Educational philosophy, Purpose of education, Learning/Educational goals, 3policies(Regular Course)

教育理念

Educational philosophy

「開発研究とものづくりの現場を結ぶ人材であれ」

Be human resources that connect research and development with manufacturing sites.

～ものづくり現場を理解し企画開発力を持った「中核技術者」の育成～

Foster "core engineers" who understand manufacturing sites and have planning and development skills.

本校は、東洋一の技術集積のあった「呉」にある高等専門学校として、15歳からの5年間または7年間の一貫教育、実験・実習を重視した教育活動により、理論と技能を結びつける技術者を育成することを旨とする。

As the foremost school of engineering in East Asia, the National Institute of Technology Kure College aims to develop engineers who can combine theory and skill through five to seven years of integrated education starting at age 15, providing educational activities with an emphasis on experiments and practical training.

本科

Regular Course

教育目的

Purpose of education

豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。

We will develop human resources who have rich culture and internationality, acquire engineering expertise through practical education focusing upon experimentations, to handle various issues in each field.

学習・教育目標

Learning and Education Goals

(HA) 豊かな教養と国際性の修得 (HC) 専門分野の課題に対応できる能力の修得

Acquire a rich culture and internationality

Learn to respond to specialized field issues

(HB) 工学に関連する基礎知識の修得 (HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得

Acquire basic engineering knowledge

Learn to understand social needs and respond to issues creatively

ディプロマ・ポリシー Diploma Policy

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー中の (HA)～(HD) は、学習・教育目標とそれぞれ対応しています。

準学士課程卒業認定の基本方針

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、167単位以上（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）を修得した学生に準学士（工学）を授与する。

準学士課程で養成する人材像

- (HA) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている
 - ・人文・社会科学系科目を修得する
- (HB) 専門分野に活用できる工学に関する基礎知識を身に付けている
 - ・自然科学系科目を修得する
- (HC) 実務や研究に活用できる専門知識や専門技術を身に付けている
 - ・専門科目及び卒業研究を修得する
- (HD) 主体的な活動を通し、創造的に課題に対応できる能力を身に付けている
 - ・インキュベーションワークを修得する

準学士課程では、「本科の学習・教育目標 (HA) 豊かな教養と国際性の修得、(HB) 工学に関連する基礎知識の修得、(HC) 専門分野の課題に対応できる能力の修得、(HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得」の各目標に対応した科目の履修により、167単位以上（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）を修得した学生に卒業を認定し、準学士（工学）と称することを認めます。ここで、一般科目は (HA)、(HB)、(HD) の科目、専門科目は (HC) の科目が対応します。

上記単位の修得により、学則に示す本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現します。

具体的な人材像として「(HA) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている、(HB) 専門分野に活用できる工学に関する基礎知識を身に付けている、(HC) 実務や研究に活用できる専門知識や専門技術を身に付けている、(HD) 主体的な活動を通し、創造的に課題に対応できる能力を身に付けている」を想定しています。

カリキュラム・ポリシー

Curriculum Policy

低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとする。また、初年次から、全学科に共通する専門的な科目を設ける。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60点以上を合格とする。

- (HA) 豊かな教養と国際性を修得するために、人文・社会科学系科目を設ける
- (HB) 工学に関連する基礎知識を修得するために、自然科学系科目を設ける
- (HC) 専門分野の課題に対応できる能力を修得するために、専門科目を設ける
- (HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力を修得するために、総合的な科目を設ける

本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現するため、低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとする。また、初年次から、全学科に共通する専門的な科目を設ける。

各学科の教育目的を実現するため、専門科目ではそれぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視する。国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラムに準拠し、専攻科との接続を考慮した体系的なカリキュラムを構成する。

全ての授業は、カリキュラム・ポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価する。

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法をWebシラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価する。

各学科と高専MCC（モデルコアカリキュラム）、学位授与機構専攻の区分との関係

学科名	学科の教育目的	高専MCC	学位授与機構専攻の区分
機械工学科	ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成	機械系分野	機械工学
電気情報工学科	絶え間なく進化する科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成	電気・電子系分野	電気電子工学
環境都市工学科	豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成	建設系分野	土木工学
建築学科	安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成	建設系分野	建築学

「地域から世界へ、人類の幸福に貢献する人材であれ」

Be human resources who contribute to human well-being locally and globally

～豊かな人間性と確かな技術力を持ち、人類の福祉と平和、
国際社会の持続的発展に貢献するために学び続ける人材の育成～

Foster highly skilled human resources with a rich sense of humanity, who continually engage in learning to contribute to the welfare and peace of humankind and the sustainable development of the global community.

本校は、かつての軍港「呉」にある高等専門学校として、人類の福祉と平和、国際社会の持続的発展へ貢献できる人材を育成することを重視し、変化を恐れぬ「柔軟性」と「創造性」、確かな「技術力」と「実行力」を持ち、自ら学び続ける人材を育成することを目指す

As a school of engineering in the former military port city of Kure, the National Institute of Technology (KOSEN), Kure College aims to develop human resources who are flexible, creative and unafraid of change, who have high technical skills and can "get things done," and who continually engage in learning to contribute to the welfare and peace of humankind and the sustainable development of the global community.

各学科の教育目的

Purpose of each course

機械工学科 Mechanical Engineering	ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成 Foster human resources equipped with the mechanical technologies that can contribute to the development of society through manufacturing
電気情報工学科 Electrical Engineering and Information Science	絶え間なく進化する科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成 Foster human resources equipped with the electronic information technologies that can respond to an ever-evolving science and technology
環境都市工学科 Civil and Environmental Engineering	豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成 Foster human resources equipped with the technologies to maintain a rich and comfortable natural environment and social infrastructure
建築学科 Architecture and Structural Engineering	安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成 Foster human resources equipped with the technologies to create safe and comfortable living spaces

アドミッション・ポリシー（1年次入学、3年次編入学、4年次編入学で共通）

Admission Policy

求める学生像

呉高専は、次のような人を求めています。

- (H1) 確かな基礎学力を持ち、ものづくりに興味のある人
- (H2) 主体的かつ積極的に行動できる人
- (H3) コミュニケーション力のある人

求める学生像の3項目、(H1)、(H2)、(H3)は、それぞれ学力の3要素（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度に対応しています。

入学者受け入れの基本方針

第1学年入学

中学校を卒業した者を対象に、推薦選抜（一般推薦）、推薦選抜（特別推薦）、学力選抜、帰国生徒特別選抜の4つの方法により、入学者を選抜します。

- (1) 推薦選抜（一般推薦） 入学意欲と適性、積極性、コミュニケーション能力などについて、総合的に評価します。配点は、調査書270点、面接135点の合計405点満点とします
- (2) 推薦選抜（特別推薦） 選抜は、面接によって行います。学業、活動実績と活動内容を確認し、入学意欲、志望学科への適性などについて、総合的に評価します。
- (3) 学力選抜 学力検査と調査書の総合判定によって行います。配点は、学力検査500点（100点×5教科）、調査書405点、合計905点満点とします。
- (4) 帰国生徒特別選抜 選抜は、学力検査と面接の総合判定によって行います。配点は、学力検査400点（100点×4教科）、面接100点の合計500点満点とします。ただし、日本人学校及び国内の中学校の成績等について、本校所定の調査書が提出された場合の選抜は、学力検査、面接及び調査書の総合判定によって行います。配点は、学力検査400点（100点×4教科）、面接100点、調査書405点、合計905点満点とします。

第3学年編入学（外国人対象）

外国の高等学校を卒業した外国人を対象として、第3学年編入学者の選抜を行います。編入学者の選抜は、出願書類、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC L&R または IELTS の成績および面接の評価を総合して行います。

第4学年編入学

高等学校を卒業した者を対象として、第4学年編入学者の選抜を行います。選抜は、調査書（150点）、試験（150点）及び面接の総合判定によって行います。

入学者選抜における評価項目

アドミッション・ポリシー	(H1) 確かな基礎学力を持ち、ものづくりに興味のある人	(H2) 主体的かつ積極的に行動できる人	(H3) コミュニケーション力のある人
学力の3要素	(1) 知識・技能	(2) 思考力・判断力・表現力等の能力	(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
推薦選抜（一般推薦）	調査書	面接	面接
推薦選抜（特別推薦）	調査書 （中学校3年間9教科の学業成績の総計が5段階評価で114以上）	面接、推薦書 （課外活動等における優れた成績を収めた者）	面接
学力選抜	学力検査（5科目）調査書		
帰国生徒特別選抜	学力検査（4科目）		面接
第3学年編入学（外国人対象）	日本留学試験、英語外部試験	面接	面接
第4学年編入学	試験（筆記又は口述試問）	面接	面接